



































チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化した「三友工務店 企業理念」を基に、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・従業員は「行動指針」「社員の心構え」と自らの使命を理解し、個々の責任とお互いの個性を尊重し、互いに助け合いながら困難を克服し、新しい技術・事業に挑戦する文化が形成されている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・建設業法、建築基準法、他、業務に係る法令集などを事務所へ置き、誰もが閲覧できる環境にしている。 ・週一回開催している定例会議の中で、法令遵守やコンプライアンスに関する事項を話し合い、全社員が共有している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。 ・仕入先等に対して、不当な値引きや圧力行為を行わないように周知徹底している。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として、取締役を任命している。 ・事業活動において排出される廃棄物や騒音など地域社会や環境に及ぼす影響を理解し防止に取り組んでいる。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・【社外】販促活動における著作権の侵害を行わないよう周知徹底している。 ・【社内】社内に蓄積された「技術」「事務」マニュアル、図面、素材、写真集などの情報や、業務に関するノウハウ、知識などを厳重に保護している。 ・災害時にデータが失われないようにクラウド上にもバックアップしている。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報や顧客情報などが記載された書類などはシュレッダーでの処理を徹底し、個人情報の漏洩を防止している。 ・顧客データは管理者以外はダウンロードできないような管理体制を整えている。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事完了後に「お客様の声」をいただき、それを基に改善活動を行っている。 ・毎月、お客さまに会報誌をお送りして会社の近況をお知らせし、ご意見があれば会社に届くよう取り組んでいる。 ・協力会社には、定例会を通して会社の近況を報告し、風通しの良いコミュニケーションを図る事で、継続的な良きパートナーとして関係を構築している。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・協力会社とは定期的開催される安全会議の場で、労働災害防止をはじめとして、地球環境や人権侵害等への配慮、倫理面での適切な対応など、問題意識の共有に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・事業継続計画(BCP)を策定し、災害時に備えた安否確認訓練をLINE WORKSを使い行っている。									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17


















チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内での差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則にハラスメント防止規定を定め、身体・性別・能力・性格・環境等に関する否定的な言動や性別役割分担意識に基づく言動等を行わないよう注意喚起している。 ・就業規則にて、あらゆる雇用条件及び職場環境において差別しない体制・運営を周知徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全協力を定期的に開催し、外部講師を招き安全に関する勉強会を開催している。 ・社員、協力会社などで構成されるメンバーによる現場の安全パトロールを定期的に実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。 ・基礎給と貢献給などの賃金構成を明確化し、従業員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・子育て世帯や介護世帯にも働きやすいように、出勤の時間を労働者が決められるよう柔軟に設定している。 ・リモートワーク体制を構築している。(VPN環境構築)			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・全社員平均一人当たり15回以上/年の講習を受講している。 ・毎月1回の外部(県外)からの講師による研修を実施している。 ・技術向上や教育の為に県外視察を積極的に行っている。 ・加盟している団体が主催する様々な勉強会に、対面式やzoomにて参加することを推進している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断の費用を会社が負担している。(上限:6万円) ・スポーツジムへの参加費用を会社が負担している。 ・インフルエンザ予防接種:扶養まで負担している。 ・社内食事会などの内部でのコミュニケーションに係わる費用を支援している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・多様性のある職場環境づくり:25歳から70歳までが在籍している。(2025年6月時点) ・就業規則に基づき、年齢・性別に関係のない昇進昇格を行っている。 ・介護や子育てでの休みの取得や産休の積極的な取得を奨励している。 ・会社入口には、バリアフリー環境を整備し(スロープ設置)、ディスペンサーを配置し、多目的に対応できるよう配慮している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・自宅他、どこからでも仕事ができるようなリモートワーク体制を構築している。 ・現場管理アプリを導入し、会社にいらなくても情報を共有できるシステムを構築している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・社外から会社のデータベースにアクセスできるシステムを構築している。 ・クラウド上で運用できる現場管理アプリを導入し、協力会社とは現場ごとに図面や仕様書、見積書、写真などの情報を共有している。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

チャレンジ項目記入数


















11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質の性質/特性を把握し、適切な管理及び処理を行っている。 ・産業廃棄物マニフェストを活用し、適切に処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力/ガソリン等の使用量を把握をしている。 ・ガソリンに関しては自動車毎に燃費管理とエコドライブに関する指導を行っている。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・2021年4月より簡易計算シートを用いて、CO2排出量を把握している。 ・事務所の照明やエアコンの節電、個別のガソリン使用料を管理・把握し、エコドライブの指導を行うことで、CO2排出量の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した基礎工法を選定している。 ・自社敷地内は雑木林のように多様な樹木、植物を植えている。 ・お客さまにも積極的に緑化の提案を行っている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・積極的なリノベーション提案を行う事で、家という資源を最大限に活用している。 また、古民家再生等による、資源利用の削減や再利用を推進している。 ・FAXなどの裏紙の利用やペーパーレス化の実施を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・従業員への呼びかけを行い、「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・塗料等の化学物質の漏洩が無い様、徹底した管理を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・自然素材(無垢材など)や環境配慮型の塗料、体に優しいホウ酸塩を主原料とするシロアリ・腐朽予防剤を使用している。 ・シックハウス症候群に配慮した、できるだけ自然素材を使用した家づくりを推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・協会の会合や社内のメンバーでの食事会などでは熊本県の推奨している3010運動を実践しフードロスの対策を行っている。	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・会社敷地内に雑木林のような植栽を行い、江津湖地域に配慮した良好な景観の形成に貢献している。											11.6 11.7			13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・省エネ性能の高い設備機器の選定を行っている。 ・省エネ計算ソフト「ホームズ君」を使用し、高気密高断熱で省エネ性能を上げて、エネルギー効率の良い建築を促進している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	



チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・独自の標準施工手引書を作成し、住宅の品質を確保する仕組みを構築している。 ・お引き渡し前に「担当者検査」「社内検査」「施主検査」の3回の検査を実施して、製品・サービスの安全性や品質を確認している。 ・年2回、お客さまに「住まいの点検ハガキ」を送付し、不具合の発見と品質の安定化を図っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・資料を作成する際は、お客様の環境に合わせてフォントサイズや色を変更するなど臨機応変に対応をしている。 ・ユニバーサルデザイン建築ガイドラインを参考に、バリアフリーを考慮した設計・提案を臨機応変に行っている。 また、会社の入口には、バリアフリー環境を整備し(スロープ設置)、多目的に対応できるよう配慮している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・主要構造部材については熊本県産木材を積極的に使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・会社内(事務所やエントランスなど)は無垢材を使用している。						7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県建築協会が主催する防災訓練やボランティア活動に積極的に参加している。 ・地域の伝統行事(神水盆踊り、水前寺成趣園まつりなど)へ積極的に協賛を行っている。 ・近隣(事務所および現場)の清掃活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを事務所に掲載している。 ・自然災害等が発生した際のLINEワークス(連絡体制)を構築し、社員や家族の安否確認がすぐに出来る様に体制を整えている。 ・事業継続計画を策定している。				4						11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・熊本県建築業協会の「災害共有システム」に登録し、自然災害時の活動に備えている。 ・小学校の「こどもひなんの家」に参加している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・制震ダンパーなどの耐震に関する建築資材を積極的に提案している。 ・日本木造住宅耐震補強事業者協同組合に加盟し、耐震補強や防災グッズの販売を行っている。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17